

東北のこれからの為に コミュニティ・オーガナイズング・WSふくしま

市民が自ら立ち上がり
持てる力を結集し地域の課題を解決していく
リーダーシップ養成プログラム

人口減少・少子高齢化・担い手不足…。東日本大震災から7年が経過し、被災地は震災が起因となっている問題と震災前からの問題が介在し、より複雑な局面を迎えています。これら社会課題の解決には、もはや行政のみならず市民一人ひとりの力が必要であり、地域内外の人も交えた総力戦で立ち向かう必要があります。
コミュニティ・オーガナイズング・ワークショップは、一人の市民の力を10倍・100倍の効果にし、多くの人たちへ波及させていくノウハウが学べるとともに、東北の課題解決に日々奔走する社会起業家・NPOで活動しているリーダーたちに出会える絶好の機会です。
これからの東北、そして地方創生を担う、社会起業家、企業、NPO、行政等のこれからのリーダーを担う皆様、皆様のチャレンジをお待ちしております。

2019 **2.2** [土] 9:20-19:50 > **2.3** [日] 9:20-19:50

申込締切日 2019年1月21日(月) ※早割りあり

 **福島市** 福島市民活動サポートセンター 会議室AB
〒960-8041 福島県福島市大町4-15

コミュニティ・オーガナイズング・ワークショップで身につく5つのスキル

01 人々を行動に動かすための語り方

人々は心が動いた時に、行動を起こします。そして公的な活動ではリーダー自身の透明性が大切です。自分がなぜこの活動をしているか、なぜ活動が聞き手に関係するのか、そしてなぜいま共にアクションを起こさなければならないのか。人々の心に共鳴するストーリー・テリングを学びます。

02 信頼関係の構築方法

雇用や金銭関係のないボランティア活動では人との「信頼関係」が活動を支える上でもっとも重要です。意識的に人との信頼関係を構築する一対一のミーティングの手法を学びます。

03 チーム構成の方法

効果的な活動には機能的なチームが不可欠です。活動目的を共有し、基本的な運営ルールを作り、各人のリーダーとしての役割を決めるといった明確な構造のあるチーム作りの方法を学びます。

04 戦略作りの手法

人々が結束して作った力を戦略的に使わなければ変革は起きません。達成したい目標、関係者分析とパワー分析、変化の理論、作戦立案、キャンペーンタイムラインの立て方を学びます。

05 アクション

戦略を展開するために、測定可能で積極性のある、効果的なアクションを考え、実行します。

特にこんな方にオススメです！

- ✓ 多くの人に関わってもらい、成し遂げたい事がある方。
- ✓ 組織運営などを担い、多くの方を巻き込みながら事業を推進していく立場の方。
- ✓ 地域、テーマを越えた人脈を築きたい方。
- ✓ やりたいこと、成し遂げたい事はあるが、どうやったら良いかわからない方。
- ✓ コミュニティ・ソーシャル・ワーカーを志す方。

※2日間の全プログラムへの参加が可能な方対象

ワークショップを通じて参加者は左の5つのスキルを自分自身のコミュニティで教え、さらに活動を広げることを目指します。ワークショップは「手法についての講義」、「少人数でのグループワーク」と「振り返り」で構成されます。この教授方法で自分の持つスキルを用いて他人と協働することを学び、自身の経験から効果的に学ぶ技術を身につけます。

詳しくは >

申込について

参加費 **18,000円** 12月14日(金)までに **早割** **15,000円** ※懇親会費(任意) 除く4千円程度 **定員 36名程度** ※申し込み先着順で定員になり次第締切らせていただきます。
宿泊交通費は自己負担になります。各自でご用意くださいますようお願いいたします。

申込の流れ

申込フォーム送信

下記 URL または QR コードから申込フォームへアクセスし必要事項を記入の上送信してください。

<http://ifc.jp/coj/form.html>



参加費のお振込

お申し込み内容を確認後、確認メールにて参加費の振込先の口座をお知らせします。

事前教材と詳細書類が届きます

お振込の確認が取れ次第、2~3日以内に当社から事前教材と書類をメールします。

お問合せ



特定非営利活動法人 いわて連携復興センター

〒024-0061 岩手県北上市大通り一丁目3番1号 おでんせプラザぐろーぶ4階 (JR北上駅西口)

☎ sakai@ifc.jp ☎ 0197-72-6200 (担当: 酒井、喜巻) FAX 0197-72-6201

本事業は、認定NPO法人ジャパン・プラットフォームの組織基盤強化事業の一環として実施します。

これまでに全国で約1700人が受講し
各地のさまざまな分野で実践も広がっています!!

実践者のメッセージ

岩手:花巻

県内初の産後ケア施設開設をママの手で!

コミュニティオーガナイズング(CO)に出会うまで、私は孤独なリーダーでした。誰が仲間になるべきなのか、ママの「産後ケアがほしい!」の声を実現するにはどう動いたらいいかわからずにいました。今、県内初の産後ケアハウスを立ちあげ運営しているすべての原点が、このワークショップにあります。

NPO法人まんまるママいわて 代表理事
佐藤 美代子さん



岩手:金ケ崎

若者が地域を動かす〜夏の成人式を冬の成人式へ〜

教えたり、やらせたりするプロジェクトは限界があります。元々のパワーを引き出し、やりたいという思いが手段を得たとき、それは大きな力になると思います。ある町の夏の成人式を冬に行おうとするプロジェクトを通じて、COには様々な手段が隠されていると感じました。

元金ケ崎町地域おこし協力隊
板垣 泰之さん



京都

関西の社協職員がリーダーシップを発揮し、 豊かな実践活動を広げるために、 京都で3年連続ワークショップを開催!

ワークショップを受講し「これや!」と感じました。COは社協職員にとって、地域福祉活動の現場、管理職のコーチング、コーディネイトなど各部門で活かされます。実践で大事にしてきたことを言葉にしてくれているので、私たちの実践を後輩に伝える最善の方法とも考えます。社協職員に必須の研修!受講をおススメしたいです。

大津市社会福祉協議会 事務局次長
山口 浩次さん



埼玉

LGBT成人式@埼玉

COを実践して価値観でしっかり繋がることができれば、チームワークが安定するということを学びました。私自身にも変化があり、人見知りや人に話しかけるのが苦手だったけど、繋がる楽しさを知ったことで、苦手を少し克服できたかなと思います。

第1回LGBT成人式@埼玉実行委員会 代表
松川 莉奈さん



福岡

違うからこそ面白い!

多様な人と手を取り合い街中に仲間を増やそう

これまで肌感覚やそれぞれの経験に依存していた活動が、効率的になったりパワーアップしただけでなく、同じ活動をしている人や同じ地域の人と共に受けることで、セクターを超えた共通言語ができて、協働がスムーズになりました!地域、社会、世界はもっと良くなる!そんな希望と仲間が見つかる場だと思います。

NPO法人coco change 代表
廣岡 睦さん



東京

刑法性犯罪を変えよう「ビリーブ・キャンペーン」

110年変わっていなかった刑法性犯罪を変えるビリーブ・キャンペーンにCOを取り入れました。国会という越えられないと思っていた壁も多くの人の力が集まると越えられる!日本の民主主義はある!と思いました。人の力をどのように集めて発揮していくかを学ぶことができます!

COJ共同創設者/ちゃぶ台返し女子アクション共同発起人
鎌田 華乃子さん

